

平成 26 年 12 月 2 日 (火)

プライス

耳より サービス情報

リゾート施設を利用できる会員権の価格が上昇基調を続けている。景況感の改善を追い風に、低額の物件から高額物件までまんべんなく買い希望が入っている。年末の不要期に差し掛かっているが、前年を上回る売上の注文が仲介会社には寄せられており、取引市場は活況が続いている。

仲介大手のe会員権(横浜市)がまとめた主要な仲介業者のデータによると10月の平均価格は186万円だった。前年同月比で11・3%(19万円)高い。例年10月からは売り注文

リゾート会員権

取引活況、高い物件人気

が増え、需給が緩む時期に入る。多くの運営会社が年末に次年度の年会費を徴収するため、顧客はこの時期、翌年も利用するかどうかを検討する。年会費を納める前に、処分を決めるケースが増えてくる。e会員権でも10月は売り注文が増えた

が増え、同時に今年は買い注文も増加した。取引価格は9月に比べ2・1%(4万円)安にとどまる。

売れる」と口をそろえる。新規施設の開業が相次ぎ買い替え需要が刺激されているほか、「せっかく買うなら、満足がいく物件を買いたい」という心理も働く。

2008年のリーマン・ショック後の景気の冷え込みで停滞した新規開発が進み、順次市場に出始めている。最近では、

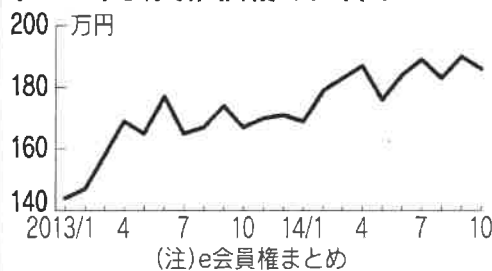
2008年のリーマン・ショック後の景気の冷え込みで停滞した新規開発が進み、順次市場に出始めている。最近では、

これから来年2月までは年末年始を挟むこともあり、仲介市場では例年であれば、取引件数が減っている。



新規施設では買い替えや追加取得の需要が好調だ(東急リゾートの「京都鷹峯」)

リゾート会員権価格は上昇している



リゾートトラストが10月から「エクシブ湯河原離宮」(神奈川県湯河原町)(17年3月開業予定)の会員権の販売を始めた。大人向けを主とした「離宮シリーズ」の第4弾で、会員権は570万円から取引市場でも高価格帯に位置する。

東急リゾートも10月に「東急ハーヴェストクラブ 京都鷹峯」(京都市)を開業。同じ施設でも露天風呂が付く「VIALA(ヴィアラ)」は販売価格が5割ほど高いが、「見学すると選ぶ人が多い」(同社)。有馬や熱海などの他施設でも「VIALA」が先に完売するなど人気が高い。

(大槻陽子)